

令和元年東日本台風による 被害概要と復旧・復興の状況

令和 6 年 9 月
宮城県丸森町

1 雨量と河川の水位

- 令和元年10月12日昼から台風19号により、仙南、仙台、大崎地域を中心に大雨となり、河川の増水や浸水、土砂崩れが発生。
- 降り始めからの総雨量は、仙台(仙台市)で383.5mm、丸森(丸森町)では427.0mmを観測し、10月1ヶ月分の平均値の2～3倍の雨量となりました。特に、**筆甫(丸森町)では、594.5mmとなり、既往最大の豪雨を観測しました。**
- 気象庁は**10月12日19時50分に宮城県に大雨特別警報を発令**しました。

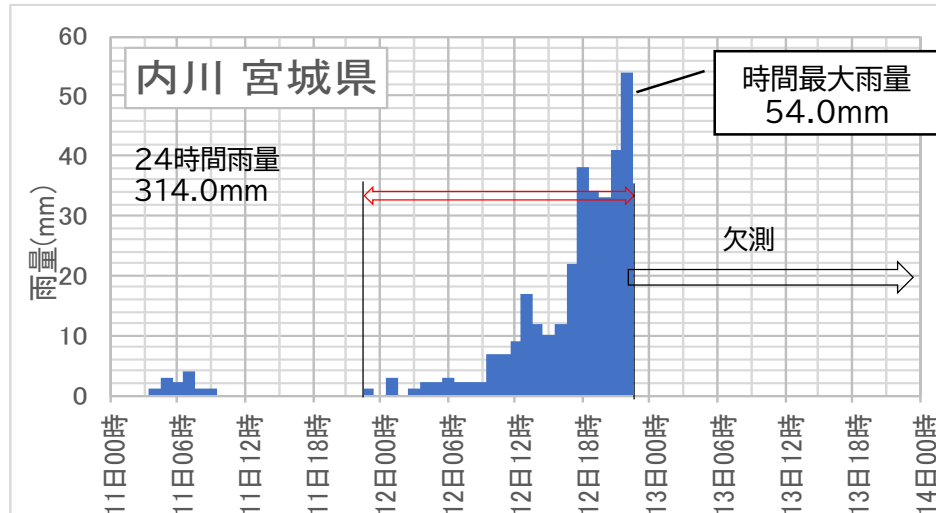
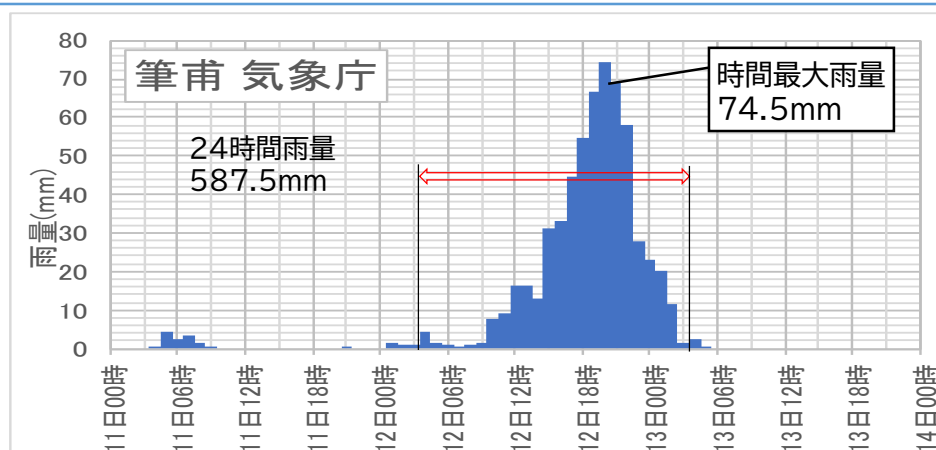
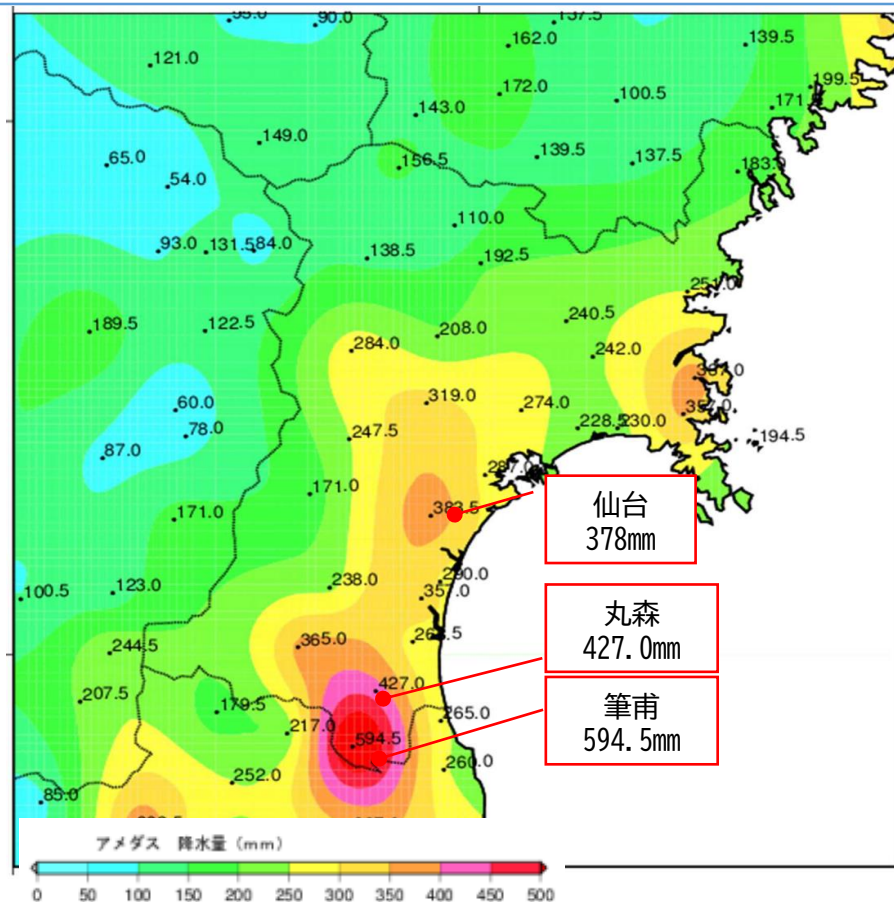


図:10月11日15時から13日9時までの総雨量(単位:mm)

出典:仙台管区気象台資料 宮城県資料

1 雨量と河川の水位



1 雨量と河川の水位

(1) 総雨量 (10月12日～13日)

観測所	総雨量	最大時間雨量	観測時間
丸森	427mm	60mm	10月12日 23:00
内川	314mm	54mm	10月12日 22:00
笠松	560mm	78mm	10月12日 22:00
筆甫	594mm	74mm	10月12日 20:00
大内	612mm	77mm	10月12日 22:00
大張	481mm	55mm	10月12日 22:00

(2) 河川の水位

河川名	観測所	最高水位	氾濫危険水位	河川の状況
阿武隈川	丸森	23.44m	22.30m	危険水位 + 1.14m
内川	内川	9.84m	—	堤防決壊
雉子尾川	山居	7.11m	—	越水発生

河川の氾濫被害



河川の氾濫被害



2 被害の概要

(1) 人的被害

死者	災害関連死	行方不明者	けが人
10名	1名	1名	2名

丸森地区子安



2 被害の概要

(2) 公共土木施設・農林業施設等の被害

2,904か所 被害額 **376億3,284万円**

区分	被害か所数
町道等	341か所
河川	338か所
橋梁	3か所
都市施設	1か所
下水道施設等	5か所
農林業施設	2,216か所



被災した町道等



2 被害の概要

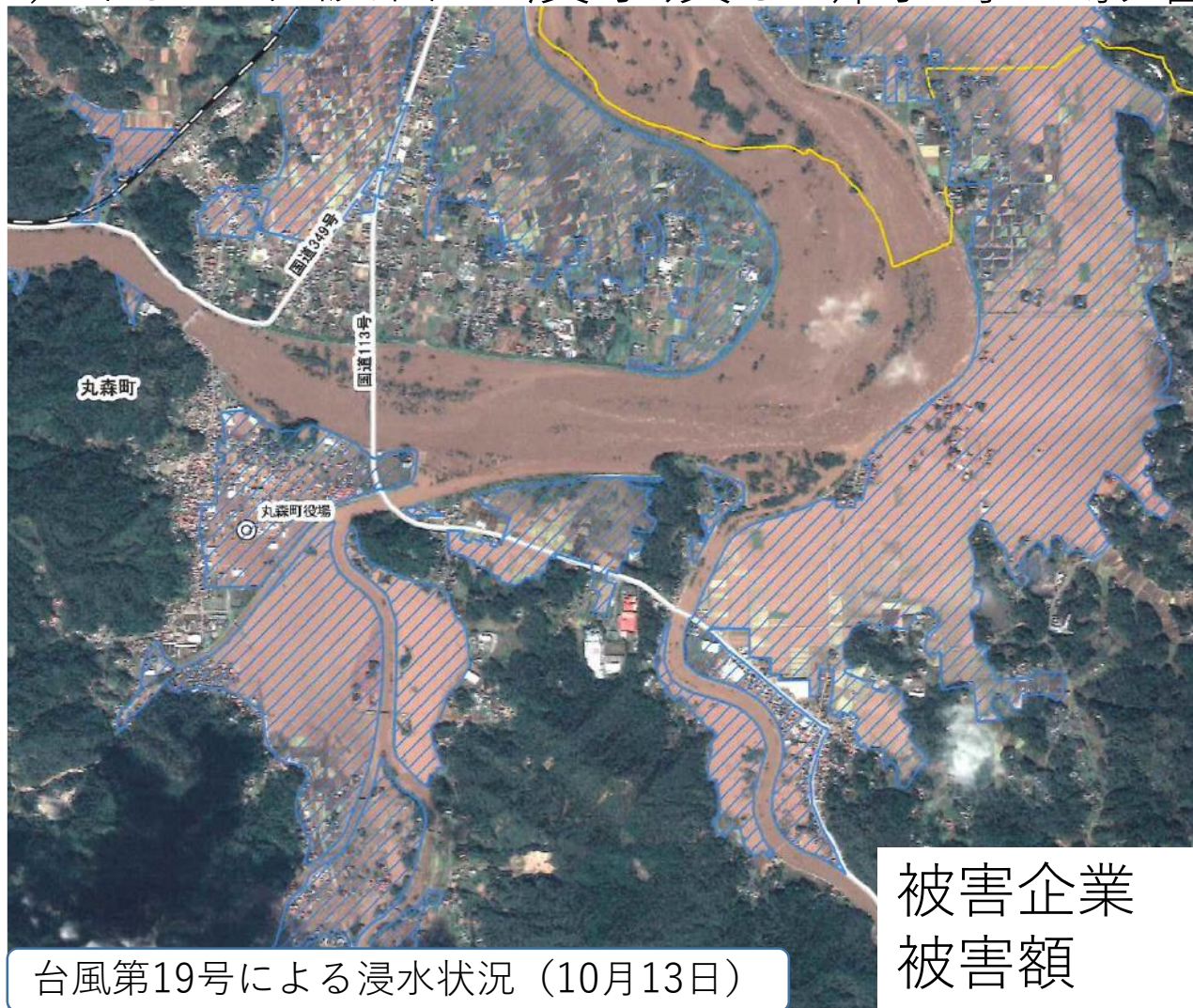
(3) 農作物・農業用機械等の被害



被害面積	364ha
被害額	11億4,544万円

2 被害の概要

(4) 商工業被害 浸水及び断水等の影響



2 被害の概要

(5) 河川の決壊（県管理）



内川	10か所
新川	4か所
五福谷川	4か所



2 被害の概要

(6) 住宅被害

・ 床上浸水 **908世帯** ・ 床下浸水 **316世帯**



2 被害の概要

(7) 家屋調査の状況

・全 壊	115戸
・大規模半壊	248戸
・半 壊	633戸
・準半壊	14戸
・一部損壊	332戸
合 計	1,342戸

丸森地区 五福谷



2 被害の概要

(8) 断水



上水道施設の取水口の被害及び一部停電の影響により、**町内全域（3,400戸以上）**で令和元年10月13日から**断水**。

11月1日に仮復旧

取水口の仮復旧



2 被害の概要

(9) 避難所の設置 14か所 避難者数 545人

丸森小学校



※令和元年10月25日時点
(最大)

令和元年12月下旬に町のプレハブ応急仮設住宅が完成。
令和元年12月29日までにすべての避難所が閉鎖されました。



3 災害復旧・復興への課題

(1) 財政的な課題

令和元年東日本台風による被害は甚大なものがあり、激甚災害の指定や災害救助法に基づく財政支援の対象とならない復旧経費も膨大になっています。

- ◎ 本町の標準財政規模（平成30年度） 51億3,695万円
 - ◎ 財政力指数 0.297

 - ◎ 令和元年度における当初予算の額 89億9,400万円
 - ◎ 最終予算額 268億1,002万円
- ※約3倍に増額

被害総額は**472億8,164万円**にのぼっており、令和6年度においても、100億円を超える当初予算を計上しました。

各種補助事業等を活用した復旧及び復興に迅速に取り組むためにも、一般財源の確保が急務となっています。

3 災害復旧・復興への課題

(2) 人的な支援

発災直後から、宮城県や北海道をはじめ、県内外の市町村、国及び防災機関が応援に駆け付け、被害状況の調査や避難所の運営、被災者支援など、様々な活動を支援いただきました。

また、復旧・復興工事を進めるにあたり、専門的な知識を有した技術職員等の人材は常に不足する見込みであったため、令和2年度からは全国の地方自治体へ向けて、地方自治法に基づく中長期派遣を要請し、多数の職員派遣にご協力をいただきました。

発災から4年5か月が過ぎた令和6年3月末に、すべての派遣職員が帰任されています。

これらの支援により、町は復旧・復興に向けて大きく進むことができました。

対口支援等による応援

年度	市町名等
令和元 (10～3月)	宮城県、仙台市、塩釜市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、大和長、色麻町、加美町、南三陸町、北海道、旭川市、北見市、岩見沢市、三笠市、八雲町、白老町、厚真町、むかわ町、新得町、芽室町、青森県横浜町、秋田県秋田市、山形県山形市、南陽市、福島県相馬市、茨城県境町、神奈川県横浜市、新潟県三条市、見附市、富山県立山町、三重県、滋賀県、長浜市、兵庫県神戸市、南あわじ市、朝来市、岡山県岡山市、倉敷市、広島県広島市、福山市、東広島市、愛媛県宇和島市、西予市、熊本県熊本市、石巻地方広域水道企業団、大河原税務署、東北財務局、法務省仙台矯正管区、東北農政局

地方自治法による中長期派遣

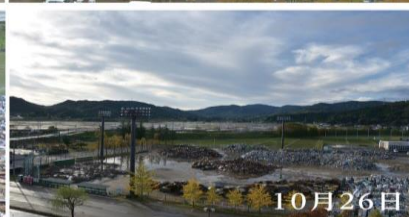
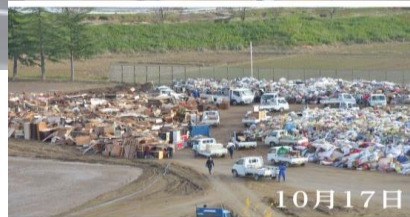
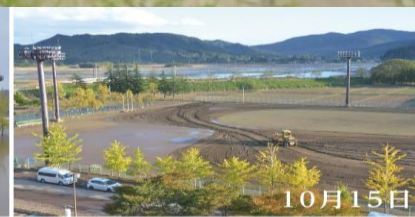
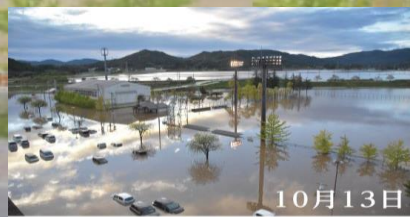
年度	市町名等
令和2	宮城県、仙台市、登米市、栗原市、川崎町、七ヶ浜町、北海道北見市、大阪府和泉市、兵庫県神戸市、南あわじ市、鳥取県琴浦町、岡山県岡山市
令和3	宮城県、仙台市、登米市、栗原市、川崎町、七ヶ浜町、北海道北見市、青森県南部町、兵庫県神戸市、鳥取県湯梨浜町
令和4	宮城県、仙台市、川崎町、七ヶ浜町、山形県高畠町、埼玉県加須市、兵庫県神戸市、鳥取県湯梨浜町
令和5	宮城県、仙台市、川崎町、七ヶ浜町、埼玉県加須市、兵庫県神戸市、愛媛県西予市

4 災害復旧・復興の状況

(1) 役場前の変遷



令和2年6月12日撮影



4 災害復旧・復興の状況

(2) 役場の体制

発災前

※職員数は、町長、副町長、教育長を除く。

職員数 229人
(令和元年9月16日)

令和2年度

職員数 271人
(令和2年4月1日)

うち新規採用職員12人
派遣職員17人

令和3年度

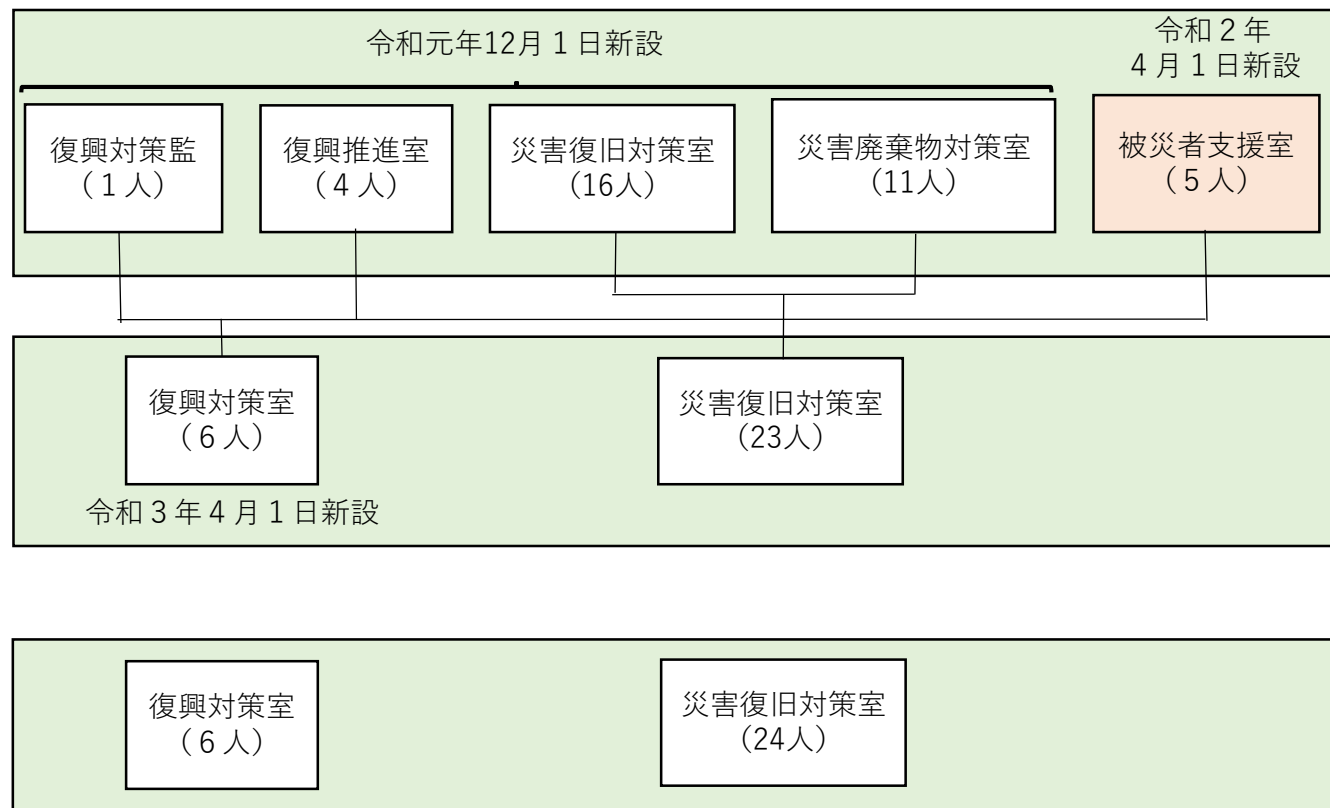
職員数 268人
(令和3年4月1日)

うち新規採用職員10人
派遣職員13人

令和4年度

職員数 264人
(令和4年4月1日)

うち新規採用職員9人
派遣職員11人



令和 5 年度



職員数 274人
(令和 5 年 4 月 1 日)

うち新規採用職員 7 人
派遣職員 8 人

復興対策室
(5 人)

災害復旧対策室
(26 人)

令和 6 年度



職員数 258人
(令和 6 年 4 月 1 日)

うち新規採用職員 10 人
派遣職員 0 人
※令和 6 年 4 月 1 日時点

復興対策室
令和 6 年 3 月 31 日で廃止

※一部業務は建設課、保健福祉課へ移管

企画財政課復興推進班
(2 人)
令和 6 年 4 月 1 日新設

災害復旧対策室
(15 人)

4 災害復旧・復興の状況

(3) プレハブ仮設住宅の建設状況 6 団地 208 戸



団地名	建設戸数	入居開始日 (令和元年)	最大入居世帯数	
			世帯数	入居者数
①花田仮設団地	68	12月21日	68	132
②金山仮設団地	29	12月24日	19	52
③寺内仮設団地	60	12月21日	47	88
④町西仮設団地	24	12月23日	21	60
⑤和田仮設団地	12	12月26日	8	25
⑥大館仮設団地	15	12月26日	13	26
	208		176	383

※令和2年3月31日時点（入居者数最大）

- ①県がプレハブ建築協会へ業者斡旋を要請
- ②斡旋された業者が建設
- ③県と斡旋業者がリース契約を締結
- ④町と入居者が使用貸借契約を締結
- ◇入居者の家賃負担はない。

※仮設住宅の供給は災害救助法に基づいており、建設等の財源は全額災害救助費（国庫）。

※令和5年12月25日に最後の入居者が退去したことに伴い、全ての仮設住宅が解体・撤去済み

4 災害復旧・復興の状況

(4) 花田仮設団地の例

宮城県土木部住宅課提供資料



4 災害復旧・復興の状況

(5) 復旧・復興計画の策定

復旧・復興基本方針

令和元年12月17日策定

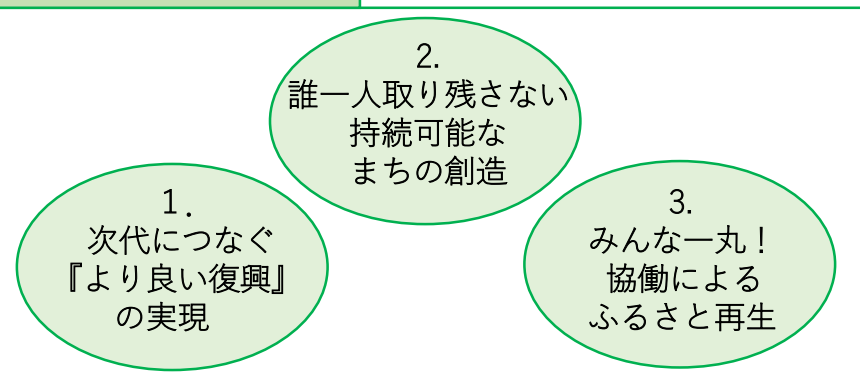
1 位置づけ

◇「丸森町復旧・復興基本方針」は、台風第19号被害から、本町がどのように復旧・復興に取り組んでいくかという基本的なビジョンや理念を示すものです。

2 復興ビジョン

共に立ち上がろう
次代につなぐ新たな丸森づくり

3 基本理念



復旧・復興計画

令和2年6月17日策定

1 策定の経緯

◇計画の策定に当たっては、まちづくり懇談会や住民意向調査、さらにはパブリックコメント等で寄せられた町民の皆様からの意向をはじめ、町内各地区の住民や専門的な知見を有する学識経験者などで構成する「丸森町復興推進委員会」での意見等を反映しながら策定しました。

2 基本施策

1. 安らぎのある暮らしの再建
2. 災害に強く魅力あふれるまちの創造
3. 活気あふれる産業・なりわいの再建

3 重点プロジェクト

1. 町産材を活用した災害公営住宅整備・町営住宅再建
2. 安全・安心の拠点形成
3. 「儲ける農業」創造

○丸森町復旧・復興計画の策定経緯

開催年月		策定体制		議会	町民参画
		復興推進本部会議 ※町長、副町長以下、町の幹部職員で構成	復興推進委員会 ※町民及び学識経験者等で構成		
令和元年度	10月				
	11月				
	12月	【第1回】12月2日 【第2回】12月6日 【第3回】12月17日		12月18日 議員全員協議会	
		復旧・復興基本方針の決定			
		【第4回】12月27日	(設置) 12月25日		
	1月		令和元年度 【第1回】1月24日		◇まちづくり懇談会 【大内】1月16日 【耕野】1月17日 【金山】1月18日 【大張・小斎】1月20日 【筆甫・館矢間】1月21日 【丸森】1月22日
	2月	【第5回】2月18日	【第2回】2月25日	2月10日 第6回 特別委員会 2月26日 第7回 特別委員会	◇住民意向調査 (2月4日～2月21日)
		復旧・復興計画(素案)			
	3月	【第6回】3月24日	【第3回】3月30日	3月27日 第8回 特別委員会	
		復旧・復興計画(中間案)			

令和 2 年度	4 月	【第7回】 4月13日		4月27日 第9回 特別委員会	◇パブリックコメント （4月1日～4月30日） ◇地区説明会 【金山】 4月14日 【筆甫・小斎】 4月15日 【大張・館矢間】 4月16日 【耕野】 4月17日 【大内・丸森】 4月18日 ◇住宅再建意向調査 （4月15日～5月1日）
	5 月	【第8回】 5月19日	令和2年度 【第1回】 5月27日	5月27日 第10回 特別委員会	
	6 月	【第9回】 6月17日		6月10日 第11回 特別委員会	

復旧・復興計画（最終案）

復旧・復興計画の決定

※特別委員会：令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会

4 災害復旧・復興の状況

(6) 土砂災害を防ぐための対策事例

国土交通省東北地方整備局提供資料



4 災害復旧・復興の状況

(7) 災害公営住宅の建設 ①建設戸数：50戸（木造14戸、RC造36戸）
②入居開始：木造 令和5年3月～
RC造 令和5年7月～

完成イメージ



完成後の様子（RC造）



完成後の様子（木造）



4 災害復旧・復興の状況

(8) 被災した町営住宅の集約・建替

- ・町営神明住宅
 - ①建設戸数：90戸
(木造54戸、RC造36戸)
 - ②入居開始：木造 令和4年12月～
RC造 令和5年3月～
- ・町営竹谷住宅
 - ①建設戸数：20戸 (木造)
 - ②入居開始：令和4年7月～

◇被災した町営住宅の内訳

住宅名	管理戸数	入居戸数 (被災戸数)
神明住宅	106	92
鳥屋住宅	15	9
竹谷住宅	21	17
計	142	118



・町営神明住宅

完成イメージ



東側工区24戸完成後の様子（木造）



完成後の様子（RC造）



・町営竹谷住宅

完成後の様子（木造）

